

# 公益社団法人 日本天文学会理事会議事録

日 時：2019年1月12日（土） 13時00分～17時00分

場 所：東京八重洲ホール 612号会議室(6F)（中央区日本橋3丁目4番13号）

出席理事：柴田（一）、林（左）、土居、伊王野、山下、早野、柴田（克）、嶋作、小宮山、寺田、大山、望月、徂徠、花輪、伊藤、春日（以上16名）

出席監事：立松（以上1名）

欠席監事：田中

また、佐藤事務長、黒岩事務長補佐が出席した。

## I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、出席者が16名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

また定款に基づき、議長と署名人の確認がなされた。

議 長：柴田一成

署名人：柴田一成、林 左絵子、土居 守、立松健一

I-2. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回（2018年9月19日）の理事会議事録が報告され確認された。

## II. 議題

II-1. 新規加入者の承認（資料3、山下）

2018年9月13日～2019年1月9日までに正会員入会申請88名、準会員入会申請19名、及び、2019年度からの正会員入会申請1名、準会員入会申請1名、準→正の移籍申請1名の申請があった。学部生の正会員（学生）への入会について議論の後、賛成多数で承認された。

II-2. 公益社団法人日本天文学会2019年度事業計画の承認（資料13、伊王野）

各委員会等に日本天文遺産選考委員会・天文教育普及賞選考委員会を追加すること、IAU100周年事業を追加する修正の後、代議員総会に提案することが全会一致で承認された。

II-3. 公益社団法人日本天文学会2019年度予算案の承認（資料14、早野）

例年、均衡予算でも黒字決算となって来たために遊休財産が積み上がっており、その財産が事業費以上に積み上がると公益社団法人の資格を失うので、遊休財産を減らす必要があるため、来年度の予算案が赤字予算となっている旨の説明があった。学会ホームページの新規作成費については、予算案作成後ネットワーク委員会から増額の要請があったが、予算案としてはこのままにして実務理事会で必要性が認められれば支出することとし、本予算案を代議員総会に提案することが全会一致で承認された。

II-4. 研究奨励賞の内規変更について（資料15、大向、代理伊王野）

研究奨励賞の選考対象を“最近5年間”の天文学への寄与に限る記述を、“最近おおよそ5年間”に変更する内規の変更案が提案され、全会一致で承認された。

II-5. 「会費の値下げ」について（資料16、早野）

平成 29, 30 年度と続けてきた正会員の会費を 18,000 円から 15,000 円に暫定的に値下げしてきた措置を平成 31 年度も継続する「会費に関する細則」の変更が提案され、代議員総会に諮ることが全会一致で承認された。

II-6. インターネット天文学辞典編集委員会に関する内規について（資料 17、土居）

4 条委員会としてインターネット天文学辞典編集委員会を設置する内規の提案があり、文言についての議論の後、全会一致で承認された。

II-7. PASJ 編集委員の交代について（資料 10、嶋作）

鈴木建委員および Yu Gao 委員より退任の申し出があったことが報告された。PASJ 委員会から、それぞれの後任として専門分野の近い今田晋亮氏（名古屋大学）と Yong Shi 氏（南京大学）の推薦があり、全会一致で承認された。

### III. 報告

III-1. 移籍・退会等の報告（資料 3、山下）

2018 年 9 月 13 日～2019 年 1 月 9 日までに正会員入会申請 88 名、準会員入会申請 19 名、準→正の移籍申請 0 名、正→準の移籍 0 名、正会員退会者 7 名、準会員退会 11 名の報告があった。また、上記とは別に、2019 年度よりの入会として、正会員 1 名、準会員 2 名の申請の報告があった。

III-2. 安全保障と天文学について（資料 22、柴田一成）

ワーキンググループの活動報告と声明案が報告された。また、2018 年 12 月 22 日に京都大学で開催された臨時会員集会での議論が紹介された。声明案についての議論がなされ、声明案改訂の参考とすることとした。

III-3. 「歴代会長・副会長の一覧の修正」について（資料 4、林（左））

日本天文学会の「期」は、公益社団法人発足時を第一期とするが、第一期は半年ほどでありその後の第二期から通常の 2 年の会期が始まった。一方、会長・副会長等の「代」は、公益社団法人への移行時に選挙が行われずに実質 2 年半の任期となったため、この 2 年半を 1 代と数える方針が報告され、その一覧が提示された。

III-4. 天体発見賞・天文功労賞の推薦について（阿部/代理伊王野）

例年通り、天体発見賞・天体発見功労賞・天文功労賞（長期・短期）の候補者を選出した。

III-5. 第一回天文遺産の推薦について（資料 6、半田/代理伊王野）

29 件の推薦の中から、3 件の候補を選出した。

III-6. 第一回天文教育普及賞の推薦について（資料 7、土居）

8 件の推薦の中から、2 件の候補を選考した。

III-7. インターネット版天文学辞典 WG からの報告（資料 8、縣/代理土居）

4 月から 11 月の統計で月間のページビューが 2 万件程度を維持していること、学習レベル別では高校生レベルが約 75%と最多であることが報告された。当初 3000 語でスタートした後、20%を改訂し、1%を追加してきた。

III-8. シリーズ現代の天文学 WG からの報告（資料 9、茂山/代理伊王野）

2018 年は第 5, 4, 10 巻の第 2 版を刊行し、2019 年度中には、第 3, 6, 16, 17 巻の第 2 版を刊行で

きる見込みである。また、第 18 巻として Astrobiology 関係の巻を刊行する。第 2 版は電子書籍としても出版することとなり、日本評論社との契約を締結した。

#### III-9. PASJ 編集委員会からの報告 (資料 10、嶋作)

OUP 社との製作・販売委託契約の更新作業中である。2017 年の Impact factor は 2016 年の 1.972 から 2.244 に上昇した。天文誌 66 誌のうちの 32 位である。

#### III-10. 事業担当理事からの報告

年会 (資料 11、寺田) :

年会アンケートなどを受けた改革として、ポスターセッションを昼食と切り離す案を検討している。また、セッション割りの再構成も検討している。

天文教育 (資料 12、大山)

講師紹介プログラムは 6-12 月で 3 件の依頼があり、2 件成立した。

天文月報 (小宮山) :

特集として、すばる HSC、ひとみ、野辺山、すばる 20 周年が進んでいる。月報にも、会長挨拶を載せることにする。

広報理事 (望月) :

ホームページのリニューアルが遅れる見込み。コンペが不調で、経費を再考して再コンペを予定している。

#### III-11. IAU100 周年について (資料 21、土居)

2019 年 5 月 27, 28 日に開催予定の IAU100 周年記念事業日本学術会議シンポジウムについて開催案が報告された。

#### III-12. 次期理事候補及び、各委員会の委員候補者について (資料 18、19、20、伊王野)

次期理事・委員の候補について報告があった。

#### [資料リスト]

資料 1 理事会出欠表

資料 2 公益社団法人日本天文学会理事会 (9 月 19 日) 議事録 (案)

資料 3 新規加入者・加入予定者の承認。移籍の承認・報告、退会の報告

資料 4 「歴代会長・副会長等の一覧の修正について」

資料 5 欠番

資料 6 日本天文遺産選考委員会活動報告

資料 7 第 1 回日本天文学会教育普及賞について

資料 8 天文学辞典 WG 活動報告

資料 9 シリーズ現代の天文学第 2 版化ワーキンググループ報告

資料 10 PASJ 編集委員会からの議題と報告

資料 11 年会実行委員会・報告事項

資料 12 各委員会からの活動報告

資料 13 公益社団法人 日本天文学会 2019 年度 (2019 年 4 月 1 日~2020 年 3 月 31 日) 事業計画書 (案)

資料 14 収支予算書 (案)

- 資料 15 研究奨励賞の内規変更の提案
- 資料 16 会費の値下げについて
- 資料 17 インターネット天文学辞典編集委員会に関する内規 (案)
- 資料 18 次期委員会委員・顧問の候補者
- 資料 19 次期選挙管理委員会の委員の選任について
- 資料 20 次期推薦委員会の委員候補者について
- 資料 21 IAU100 年記念事業日本学術会議シンポジウム(案 2018. 12. 11)
- 資料 22 「日本の天文学と安全保障の関わりについての日本天文学会からの声明」(案)

2019 年 1 月 12 日

会 長：柴田 一成 印

副会長：林 左絵子 印

副会長：土居 守 印

監 事：立松 健一 印